



HuRP

ハープ通信

2010 年

10 月号

(第 53 号)

<http://www.hurp.info>

HuRP5 周年記念◆おとなの社会科見学バスツアー

50 年目の砂川・横田・朝霞

—東京・安保をめぐるバスツアー—のお知らせ

日本国憲法をもつこの国で、「日米安全保障条約」とは何だったのか、その下で何が行われてきたのか。そしていま、それがどう変わろうとしているのか。日米安全保障条約改定から 50 年目の今年、それを確認することは、わたしたちが、この国にとっての平和と「安全保障」を考える際に、役に立つにちがひありません。

東京・安保のある風景として、3つの基地を大型バスでめぐります。それらすべてで、レクチャーをしていただけることになりました。ひとりひとりの生活と、平和、そして安全保障について考えてみませんか。

日 時：12 月 4 日（土） 10:00 集合～17:00 解散

参 加 費：2000 円（施設入場料込み）／お弁当を持参してください。

参加定員：40 人（事前予約制／11 月 26 日（金）締切／定員になり次第締め切らせていただきます）

集合場所：立川市・市制 50 周年憩いの場公園

（立川駅北口（JR 中央線）より徒歩 5 分）

◆コース（予定）

10:00 上記に集合→大型バスにて出発

10:15～11:45 立川→砂川→

「砂川闘争の記憶」島田清作さん

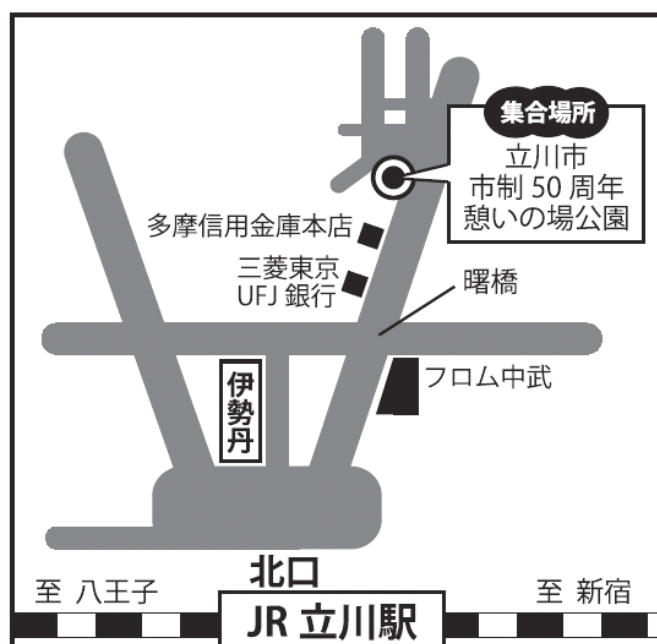
砂川闘争についてのお話をうかがい、適宜下車して、阿豆味天神社（あずさみてんじんじゃ）、砂川闘争史碑「平和の礎」、砂川学習館などを見学します。

12:00～13:30 横田飛行場→

「横田基地とはなにか」盛岡暉道さん

横田基地の外周（ゲート、基地内施設、飛行機、滑走路など）をバスの中から見学し、高台に上って滑走路全景を展望します。横田基地訴訟についてのお話もうかがいます。

＜瑞穂町施設あるいは車中で昼食（お弁当）をとります＞



13:30～17:00 自衛隊朝霞駐屯地・自衛隊広報センター

「朝霞駐屯地と陸上自衛隊」宮前節子さん

演習場などを車窓から見学し、朝霞駐屯地のお話をうかがいます。

その後、「自衛隊広報センター」を見学します。

参加ご希望の方は、メール event@hurp.info または、

FAX 03-3234-3231 までご連絡をお願いいたします。

特定非営利活動法人（NPO） 人権・平和国際情報センター（ハーブ）

ホームページ <http://www.hurp.info> TEL/FAX 03-3234-3231

法学館憲法研究所主催

公開研究会 『教育と憲法』

——学校民主主義（スクールデモクラシー）の現状と可能性

2010年10月24日

『子どもたちのための教育』とはどのようなものなのでしょうか。教員仕事と役割、学校運営のあり方を考える講演会が、伊藤塾高田馬場校で催され、勝野正章氏（東京大学准教授）が登壇しました。



勝野正章氏（東京大学准教授）

熟議民主主義

勝野氏はまず『熟議民主主義』についてふれました。熟議民主主義では、集計民主主義（いかに多数派を構成するかをめざす民主主義）とちがひ、①相互がフェイス・トゥ・フェイスの関係にあること、②影響を受ける人全てがかかわること、③自分の意見を他の人がわかるように話すこと、の三つが求められる、民主主義的な生活様式、コミュニケーション能力、熟議能力を養うことが大切であると述べました。

教育の現場では

しかし、『熟議』空間であるべき教育の現場では現在うまく機能していないことを、「職員会議での教員の発言数が減った」「教室がネットカフェのようだ」「他の教員が深刻な問題に関わっていても、支援しようとしにくい」といった複数の調査結果をあげて話されました。

そして、「教職員が希望を持てるかはユーモアが存在が大切であり、ユーモアを持ちあい、語り合うことが大切です。今は視野を広くもつことができなくなっていて、進学率などばかりに目がいってしまいがちです」と述べました。

学校民主主義の可能性

日本の憲法教育、民主主義教育は現在きわめて手薄で、政治的な教育をよしとしない教育基本法のもとでは触れられなくなっていることをあげ、「絶対的な客観性を保つことはむずかしいが、だからといって避けるのはいけません。違っているところは撤回する姿勢をもって、取り組むべきです」と述べました。

このあと、浦部法穂氏（法学館憲法研究所顧問、神戸大学名誉教授）は「今の教育現場には直感でおかしいと感じる能力がうしなわれているのではないか」と問題をなげかけ、職員会議での挙手裁決を禁止した都教委の通達について、「リーダーシップというのは独断で決めるのではなく、決断するた



浦部法穂氏（法学館憲法研究所顧問、神戸大学名誉教授）

めの前提として相互の信頼関係のもとでの意見の集約が必要である」と述べました。

勝野氏は「教育の現場では、さいごは子どもの元気な姿に救われているところが大きいです」としめくくりました。教育の現場に『熟議』が求められているいま、それをはばもうとする権力の動きの中でどうやって民主主義的な教育を目指すのか、現場の教員の方々からも多くの意見が出されました。この講演会もまた、その『熟議』の一つとして有意義なものであったのではないのでしょうか。

(T 本)

『日本国憲法と裁判官』

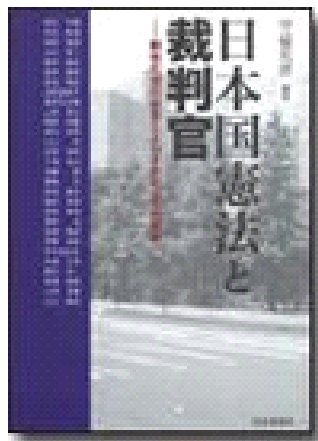
——戦後司法の証言とよりよき司法への提言—— 紹介

日本評論社 刊

2010 年 11 月発行：A5 判 ページ数：476 ページ

予価：税込み 2,940 円（本体価格 2,800 円）

昨年春から今年に描けて、法学館憲法研究所で開催してきた元裁判官による講演会『日本国憲法と裁判官』をまとめた講演録が出版されました。1970 年代前半、裁判官に対して激しい政治的干渉があり、「司法の危機」といわれました。この時代を体験し、良心と独立を守り続けた 30 人の元裁判官が、その歴史と自らを照らし合わせて語っています。講演会に行かれた方も、行かれていない方も、ぜひご一読ください。



序 章 …守屋克彦

第 1 章 裁判官と平和主義

…石松竹雄、安倍晴彦、下澤悦夫

第 2 章 裁判官のあり方

…花田政道、福島重雄、山口 忍、東條 宏、丹羽日出夫、梶村太市

第 3 章 民事裁判にかかわって

…大石貢二、井垣敏生、園田秀樹、矢崎正彦

第 4 章 刑事裁判にかかわって

…山田真也、堀内信明、須藤 繁、虎井寧夫、安原 浩、伊東武是、

第 5 章 司法の危機、そして司法改革

…宮本康昭、鈴木經夫、喜多村治雄、浅田登美子、和田忠義、北澤貞男、石塚章夫、小林克美、山口毅彦

(資料)

戦後の裁判所、裁判官をめぐる主な動向（1947 年～2009 年）

●ご購入は、日本評論社あるいは法学館憲法研究所 HP より申し込み下さい。●

平和な休日～のほほんのほ子のカフェ散歩～

第6回：京都「ぎをん小森」

<http://www.giwon-komori.com/>

住所：京都市東山区祇園新橋元吉町 61

電話：075-561-0504

特別企画
今回は京都です。

今回ご紹介するのは、京都は祇園にあるお店です。非常に京都らしい風情の中にただのカフェとは思えぬ上品なたたずまい、白い暖簾に「小森」の文字が見えます。周りでは、舞妓さん姿の女性もちろほら見えました。ちょっと緊張して中に入ると、きれいな和風建築一軒家、靴を脱いで上がり、通してもらったお部屋からは、中庭が見えました。そこでのほ子は、「抹茶ババロアパフェ」とミニグリーンティーを注文。抹茶のアイスも抹茶のババロアも、ほんのりお茶の苦みを感じられて、少し大人の味でした。非常に美味。もう、あの一軒家、きれいに磨かれた廊下など、のほ子はとりこになりました。少し高めですけど、祇園に行ったら、ぜひ、訪れていただきたいです。

(11～21：00、日曜祝日は20：00まで、定休日水曜、駐車場なし)



～ちょっと寄り道～

祇園白川 異橋付近

このあたり、京都らしい町並みが続いています。小さな川、揺れる柳、川の両側に見える、日本風の建物。「京都」らしい雰囲気味わいたかったらぜひ。

「観山堂」

<http://www.kyoto-kanzando.com/index.html>

住所：京都市東山区新門前西之町 207 電話：075-561-0126 営業時間：10：00～18：00（水曜休み）

骨董品屋さんです。初めての人も入りやすいと思います。のほ子がそうだったので。お皿がたくさん並んでいて、見ていて、楽しいです。のほ子は、明治時代のお皿（1500円）を買いました。お店の女性のご主人もお話ししやすい方です。

※ 9月号の『平和な休日』において、本文が8月号の原稿のまま掲載しておりました。会員の皆様や執筆者ののほ子様にはご迷惑おかけしたことをここにお詫びをし、あらためて正しい原稿を掲載いたします。HuRP 通信編集部

HuRP5周年企画第二弾は3つのバスで日米安全保障条約について考えるツアーです。前回の「朝鮮半島と日本の歴史を東京で学ぶ」とおなじく、一度にこれだけの場所をめぐり考えることができるイベントにしたいと思いますので、この機会にふってご参加ください。

裁判員制度が始まって初めての死刑求刑があった耳かき店員ら殺人事件で、無期懲役の判決が言い渡されました。『日本国憲法と裁判官』は過去の歴史を学び現在の司法の新しい展開を考えるうえで、ためになる一冊です。ぜひご一読ください。

(T本)



特定非営利活動法人「人権・平和国際情報センター」(HuRP: ハープ)

Human Rights and Peace Information Center JAPAN (HuRP)

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-7-6 川合ビル41号室 TEL&FAX 03-3234-3231

e-mail hurp@hurp.info HP <http://www.hurp.info/>